



2月例会

## 『経営指針書の活用と実践』

報告者 (株)アール・ツーエス 代表取締役 森 慎吾氏

2月例会は株式会社アール・ツーエスの森さんより【経営指針書の活用と実践】をテーマにご報告いただきました。報告では、経営指針書の基本構成から、なぜ経営指針書が必要であるのか、また、経営指針書をどのように活用していくのかなどについて実体験を踏まえた報告だったと思います。

本日の森さんの報告の中で2つのポイントがあったと思います。1つ目は【同友会と出会い、経営指針書を作成したこと】です。森さんは創業して8年後に同友会に入会されました。入会してすぐに経営指針作成セミナーを受講され、経営指針書を作成、発表されました。発表した時の社員の反応は良いものではなく、感想もないまま終わったそうです。苦い経験をされた森さんですが再度作成セミナーに参加されました。一回目のセミナーで作成した内容をベースに、セミナースタッフの指針書を参考にされ足りない部分を改善されました。掛けそなりながらも経営指針書を作成し続けることが大事であることを学ばせて頂きました。

2つ目のポイントは【社員さん目線の指針書を作成したこと】です。社員さんに会社の課題をヒアリングしたり、どんな会社にしたいかなど社員目線を大事にされました。社員さんの声も厳しいものがあったと聞きましたが、真摯に受け止め社員さん目線のビジョンを作成したり、会社の情報共有等を行うようになったそうです。経営やビジョンはつい経営者が考えしトップダウンになりますが、しかし、社員さんを巻き込み、どうしたら良い会社になるのかと一緒に考えることで進むべき道を共有できるようになると思います。他にも役割分担を明確にしたり、社内アンケートを取ったりなど、社員さんが自発的に行動できるような組織作りもされています。社員さんと巻き込んで指針書を作成することで社内の活性化や社員さんの成長にも繋がると改めて思いました。

森さんは同友会での出会いと学びから様々なことにチャレンジされています。苦労も多くあったと思いますが、その度に経営指針書に戻り、考え方行動されています。経営指針書を作成してもすぐに売上、利益が上がることはないといます。しかし、困った時に立ち返れるものがあるだけでも作成する意味はあると思います。今回の報告を聞いて少しでも自社に持ち帰り今後の自社の発展にお役に立てていただければと思います。



(特非)茶屋本陣の会

横山 里美

新春講演会で株式会社フォーバル 大久保会長の講話を拝聴し、大きな学びを得ました。

- ・収益を上げることは、会社を存続させるための手段であって、目的になってしまってはならないこと。何のためにその事業をしているのか目的を見失ってはならない。

- ・事業は収益性より社会性を重視し、社会から必要とされ独自性があれば存続可能となること。

- ・収益とは顧客や取引先の「ありがとう」、社員やその家族からの「ありがとう」を集めてできたもの。たくさんの「ありがとう」を集めなさい。

- ・人として正しい経営者であること。誠実であること。情熱を持つこと。

- ・企業は国を支え、経済を支える唯一のエンジン。企業や社員が納める税金で国は支えられている。税金対策などをせずにちゃんと納税すること。そして国を支えていることに誇りを持つこと！

この言葉が私の中に響きました。税金に対して今まで腹立たしさしかありませんでした。国を支えているなんて考えたこともありませんでした。今まで「正しい経営者」と聞いても、大企業だからそんな余裕があるんだとか、こっちは毎日生きることで精一杯なんだ、とか思う事も多々ありました。

大久保会長の講話を拝聴し改めて自分の器の小ささを知りました。自分の器の小ささを恥ずかしく感じました。大企業だから「社会を良くしよう」という余裕が生まれたのではなく、「社会を良くしたい」思いで経営されていた大久保会長だから大企業になった。立場が違えど私にも社会を良くするために何かできるのではないか。介護事業で出来ることがあるのではないかだろうか・・・

とても大切なことに気づかされた素晴らしい学びの機会となりました。何ができるかまだわからないけれど、まずは社会を支えるための納税。すぐに誇りは持てなくとも「笑顔で納税」に努めます！



お客様の困り事を解決できるか  
自分の会社は何のため、誰のため  
に存在しているか？

「いい会社」になるため人的成長  
が必要不可欠  
経営者の成長・社員の成長  
経営者=教育者

社員・家族・顧客・取引先・株主・地域社会から「いい会社」と  
思ってもらっているか  
「ありがとう」が集まる「いい会社」

永続を最上位目的とする経営者  
社会価値を創出する経営者  
熱と誠=情熱と誠意



## 行事予定

※3月例会

3月16日(木)

『共に生きる社会へ』

報告者 (株)カルペ・ディエム  
西田 英司氏

ちよこっと新年会



※同友会を知る会 3月23日(木)

報告者 (合)三宅牧場 まきば  
三宅 静恵氏

※4月例会

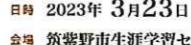
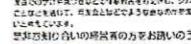
4月20日(木)

「労使見解について」

※筑紫支部総会

5月19日(金)

同友会を知る会



2023年3月例会のご案内  
見えないからできる壁 知ることでなくなる壁  
~共に生きる社会へ~

2023年3月例会の報告者  
株式会社カルペ・ディエム  
西田 英司氏 (西田英司)  
西田英司は、株式会社カルペ・ディエムの代表取締役で、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。特に、社会の問題解決や地域貢献に力を入れています。西田英司は、地域社会との連携を重視し、地域の課題解決に貢献する活動を行っています。

日時 2023年3月16日(木) 18時20分～20時20分  
会場 筑紫野市生涯学習センター  
2023年度 筑紫支部 3月例会出欠報告  
例会に ( ) 出席します ( ) 欠席します  
石毛町 会社名  
FAX 092-686-1230 (会社名)

FAX 092-686-1230 (会社名)  
例会に ( ) 出席します ( ) 欠席します  
会社名  
FAX 092-686-1230 (会社名)

2023

## 筑紫支部の未来に向けて



石内  
雅盛  
筑紫支部  
支部長

新しい年を迎え、新型コロナウィルスに対しての恐怖も段々と落ち着きをみせ、少しずつ  
本来の生活を取り戻しつつあるように思えますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。  
筑紫支部の支部長を努めさせていただき、残すところあと2か月となり次の役員体制に向け  
て動き出しているところです。

現在筑紫支部では「筑紫支部 2030 年ビジョン」の完成にむけて取り組みを行っております。  
現在から積み上げた未来ではなく「2030 年にこんな支部になっていきたい」という想いを  
描き示した、筑紫支部 2030 年ビジョンを完成させ、役員が交代しても変わらない目標のもと  
前進していく支部になってほしいと強く感じました。支部長の任期を終えた後も 2030 年の  
目標にむけて次期支部長を支えながら同友会活動を行っていきたいと思っています。

先人の方々が築き上げた筑紫支部を盛り上げていくために、皆で協力して邁進していく  
と考えています。



**フレッシュブロック**

**MEETブロック**

**企業訪問・2月プレ例会**

フレッシュ・MEETブロック合同で、2月例会報告者の(株)アール・ツーエスの森慎吾さんの会社を訪問しました。

2月例会で「経営指針書の実践」についての会社の取り組みなどの報告をして頂きます。

会議室での会話

会議室での会話

会議室での会話

**1月**

**SUNSUNブロック**

**企業訪問・3月プレ例会**

3月例会の報告者(株)カルペ・ディエム の西田英司さんの会社を訪問しました。  
障がい者雇用のテーマで、障がいを持つ方との接し方や仕事の進め方など、経営者としての考え方、姿勢を報告していただきます。

職場で働き  
職  
色

Guts!!

しっかりと食べて

ストレングス色

**広報 ちくし**

**2023・新春号**

**中小企業家同友会筑紫支部**

**NO. 85**

